

2019年6月3日

世界初^(※1)ズーム全域で開放値F1.7を実現した 新世代 標準ズームレンズ
マイクロフォーサーズシステム用交換レンズ H-X1025 を発売
<LEICA DG VARIO-SUMMILUX 10-25mm/F1.7 ASPH.>



マイクロフォーサーズシステム用交換レンズ「H-X1025」
(2019年6月 パナソニック)

品名	マイクロフォーサーズシステム用交換レンズ
品番	H-X1025
メーカー希望小売価格(税抜)	270,000円
発売日	8月22日
月産台数	150台

パナソニック株式会社は、デジタル一眼カメラLUMIX Gシリーズで採用している「マイクロフォーサーズシステム規格」に準拠した交換レンズ「H-X1025」を8月22日より発売します。

本製品は、20-50 mm^(※2)の標準ズームレンズで、ライカの厳しい光学基準をクリアし、世界で初めて^(※1)超広角から標準のズーム全域でF1.7「SUMMILUX(ズミルックス)」の明るさを実現しました。非球面レンズ3枚、EDレンズ4枚、UHRレンズ1枚の特殊レンズを最新の光学設計により最適配置し、絞り開放からズーム全域において、大口径単焦点レンズ並みの優れた描写性能、高品位なボケ味をお楽しみいただけます。

1本で大口径単焦点レンズ5本分^(※3)となる焦点距離をカバーしているため、広大な天体・風景撮影などの広角から、スナップ・ポートレートなどの標準領域まで幅広い撮影が可能です。また動画撮影では、これまで使用シーン毎に単焦点レンズの交換が必要でしたが、本製品は1本で複数の単焦点レンズの性能・画角をカバーできるため、高い利便性と機動力を発揮します。

レンズ本体は、静止画・動画撮影の双方で高い操作性・機動力を実現すべく、滑らかな絞り値の変化を可能にするクリックレス仕様の「絞りリング」、AF/MFの切替を瞬時にこなせ、更にMF時は精密なピント合わせを可能にする距離目盛を搭載した「フォーカスクラッチ機構」を搭載しています。

本製品の発売により、当社の「マイクロフォーサーズシステム用交換レンズ」は32本となり、レンズ交換による表現の楽しみをさらに広げていきます。撮影目的やスタイルに合わせてボディとレンズの組み合わせが広がることで、カメラ愛好家から初めてデジタル一眼を手に入れる方まで、幅広い方に写真撮影や動画撮影の楽しみを提案します。

特長

1. 世界初※1、ズーム全域で開放値F1.7を実現

「LEICA DG VARIO-SUMMILUX」レンズ

2. 超広角20 mm※2から標準50 mm※2までの単焦点レンズ5本分※3の焦点距離をカバーする、大口径標準ズームレンズ

3. 静止画・動画撮影の双方で優れた操作性と高い機動力を実現

※1: レンズ交換式デジタルカメラとして。2019年8月22日発売予定。

※2: 35 mm判換算。

※3: 超広角20 mm、広角24 mm、広角28 mm、準標準35 mm、標準50 mmの代表的な5つの焦点距離。

【お問い合わせ先】

LUMIX・ムービーご相談窓口

フリーダイヤル 0120-878-638 (受付9時～18時)

【特長】

1. 世界初※1、ズーム全域で開放値F1.7を実現

「LEICA DG VARIO-SUMMILUX」レンズ

ライカの厳しい光学基準をクリアし、世界初※1、ズーム全域で大口径F1.7「SUMMILUX(ズミルックス)」の明るさと優れた描写性能を実現しました。F1.7の浅い被写界深度を活かした、大きなボケ味表現や低照度下での手振れを抑えた撮影が可能です。12群17枚構成の光学系では、非球面レンズ3枚を採用して球面収差を抑制するとともに、EDレンズ4枚を最適に配置することで色収差を補正し、画面周辺まで優れた描写性能を実現しています。

開放値F1.7により、低照度下でも大口径単焦点レンズ交換を必要とせずこのレンズ1本だけで対応ができ、静止画・動画双方で美しいボケ味を活かした印象的な表現が可能となり、撮影の幅が広がります。

2. 超広角20 mm※2から標準50 mm※2までの単焦点レンズ5本分※3の焦点距離をカバーする、大口径標準ズームレンズ

1本で単焦点レンズ5本分※3となる焦点距離をカバーしており、超広角20 mm※2での広大な天体・風景撮影から、広角24 mm※2、広角28 mm※2、準標準35 mm※2でのスナップショット、さらに標準50 mm※2でのポートレート撮影まで様々なシーンでの撮影が可能です。特にワイド端20 mm※2の超広角をカバーすることにより、幅広い動画表現を可能とします。

動画撮影では、開放値F1.7の明るさを活かすことで、明るい所から低照度下へ移行するようなシーンでも一つのレンズで交換なしに対応できるため、様々な状況下でフレキシブルな撮影が可能。また撮影機材を大幅にスリム化できることと合わせ、高い機動力を発揮します。

3. 静止画・動画撮影の双方で優れた操作性と高い機動力を実現

レンズ鏡筒部に搭載した絞りリングでは、直感的に絞り値を変更できることに加え、クリックレス仕様とすることで、動画撮影時には滑らかな絞りの変化による印象的な表現が可能です。

また、AF/MFの切り替えがフォーカスリングをスライドさせるだけで素早く行えるフォーカスクラッチ機構を搭載。さらにマニュアルフォーカス操作では、静止画撮影時にはリング回転の操作速度に依存(無限回転)、一方動画撮影時にはリングの回転角の絶対位置に依存を切り替え可能とすることで、優れたマニュアルフォーカス操作を実現します。

マニュアルフォーカスポジション時に鏡筒に現れる距離目盛により、精密なピント合わせが可能のほか、動画記録時のフォーカス送りに、撮影者の意図をダイレクトに反映させることができます。

動画撮影時には、絞りのマイクロステップ制御により動画撮影時のズームやパンニング時も安定した露出変化制御をサポート。また、最新の光学設計により、フォーカシング時の画角変化であるブリージングを徹底的に抑制します。さらに240 fps駆動の高速・高精度コントラストAFに対応、AFTラッキング性能の向上により、素早く動く被写体でもしっかりピント追従。輝度変化が大きいシーンでもF値変化を滑らかに制御

し、ズーム時も安定した露出制御を実現し、快適な動画撮影をサポートします。インナーフォーカス方式により静音性に配慮しつつ、高速・高精度AFを実現しました。

そして、軽量・コンパクトで防塵・防滴仕様^(※4)、耐低温(マイナス10℃)対応なので、フィールドでの本格的な撮影にも持ち出すことができます。

※4:当社製防塵・防滴対応カメラボディに装着時。

【仕様一覧】

品番	H-X1025
レンズ名称	LEICA DG VARIO-SUMMILUX 10-25mm/F1.7 ASPH.
レンズ構成	12群17枚(非球面レンズ:3枚、EDレンズ:4枚、UHRレンズ:1枚)
ナノサーフェスコーティング	-
マウント	マイクロフォーサーズ規格準拠
焦点距離	10-25 mm(35 mm判換算 20-50 mm)
絞り形式	9枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F1.7
最小絞り	F16
撮影距離範囲	0.28 m~∞(撮像面から)
防塵・防滴 ^(※4)	○
フィルター径	φ77 mm
最大撮影倍率	0.14倍(35 mm判換算 0.28倍)
最大径×長さ	φ87.6 mm×約128 mm *
質量	約690 g(レンズフード、レンズキャップ、レンズリアキャップを含まず)

*レンズ先端より、レンズマウント基準面まで

- ・LEICA/ライカは、ライカマイクロシステムIR GmbHの登録商標です。
- ・SUMMILUX/ズミルックスは、ライカカメラ社の登録商標です。
- ・LEICA DGLレンズは、ライカカメラ社の品質基準に基づき、ライカカメラ社が認定した測定機器と品質保証システムによって生産されています。
- ・マイクロフォーサーズ™及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他の各国の商標または登録商標です。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。